

議会だより

# かみやま

第17号

2013.5.15

3月定例会



明王寺しだれ桜祭り／寄井座人形浄瑠璃公演

発行／神山町議会 [〒771-3395 徳島県名西郡神山町神領字本野間 100 TEL 088-676-1511 (IP2002) FAX 088-676-1100]

# 3月定例会

3月定例会は、平成25年3月7日から19日までの13日間の会期で開催しました。

前年度より10.4%増となった25年度予算を中心に24年度補正予算のほか条例の制定、条例の一部改正など26議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問では、3議員が登壇し（7ページから掲載）それぞれ町の考えを質問しました。

## 平成25年度当初予算 64億1,274万円を可決

一般会計 41億4,300万円 (11.8%増)  
国民健康保険特別会計 9億 304万円 (5.6%減)

簡易水道事業特別会計 2億8,734万円 (131.8%増)  
介護保険特別会計 9億5,128万円 (5.7%増)  
後期高齢者医療特別会計 1億2,808万円 (5.2%増)

### 主な内容

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| ・ 本庁舎耐震改修工事<br>2億5,839万円 (総務課)         | ・ 森林境界明確化業務委託料<br>1,800万円 (産業建設課)   |
| ・ 被災地交流支援事業補助金<br>300万円 (総務課)          | ・ 森林整備加速化・林業飛躍事業<br>4,495万円 (産業建設課) |
| ・ パソコン購入費 2,000万円 (総務課)                | ・ 残土処理場用地購入費 1,300万円 (産業建設課)        |
| ・ 高齢者見守り等支援事業委託料<br>300万円 (健康福祉課)      | ・ 道路改良舗装工事 3,600万円 (産業建設課)          |
| ・ 障害者自立支援介護給付費<br>1億4,834万円 (健康福祉課)    | ・ 社会資本整備総合交付金工事<br>5,520万円 (産業建設課)  |
| ・ 高齢者等タクシー利用助成事業委託料<br>1,000万円 (健康福祉課) | ・ 下分団地改修工事 3,655万円 (住民課)            |
| ・ 児童手当費 4,525万円 (健康福祉課)                | ・ 上分公民館新築工事<br>1億3,350万円 (教育委員会)    |
| ・ 衛生組合補助金 110万円 (住民課)                  | ・ 中央簡易水道配水管布設替工事<br>1,170万円 (産業建設課) |
| ・ 中山間地域等直接支払交付金<br>1,700万円 (産業建設課)     | ・ 中央簡易水道施設整備工事<br>1億5,750万円 (産業建設課) |

平成24年度

3月補正予算

一般会計補正予算（6号）（7号）並びに四特別会計補正予算が提案され、総額で5億1,496万円追加されました。

一般会計は、主に四基金積立金：防災行政無線整備事業・小、中学校エアコン設置工事・広野公民館耐震改修工事で、特別会計は、簡易水道事業で中央簡易水道施設整備事業の計上でした。

### 3月補正予算

一般会計（6号） 45億7,111万円（4億3,229万円）  
一般会計（追加提案補正（7号）） 45億7,111万円（0円）  
国民健康保険特別会計（4号） 11億1,224万円（1,261万円）  
簡易水道事業特別会計（5号） 1億8,611万円（4,519万円）  
介護保険特別会計（3号） 9億5,480万円（2,247万円）  
後期高齢者医療特別会計（3号） 1億1,809万円（240万円）

### 主な内容

- ・ 四基金積立金 1億 763万円
- ・ 防災行政無線整備事業 2億9,742万円
- ・ 小・中学校エアコン設置工事 2,780万円
- ・ 広野公民館耐震改修工事 7,500万円

## 所信表明

町長から所信の表明があった。その概要については、次のとおりである。

■平成25年度の神山町一般会計当初予算は、引き続き厳しい財政見込みが予想されているが、歳入歳出総額で41億4300万円を計上している。前年に比べ、4億3800万円、11・8パーセントの大幅増となっている。国の緊急経済対策に伴い、前倒しできる公共事業などを平成24年度3月補正に盛り込み一体的に編成をしている。

■国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計の当初予算は、合計で22億6974万円となっており、前年度比8パーセントの増となっている。

■一般会計予算の概要で、歳入は、固定資産税の償却資産の増加、また税率引き上げによるたばこ税の増加により、前年度比

3・3パーセント増の5億1641万円を見込んでいる。

依存財源で、地方交付税が前年度比1・4パーセント減の17億2316万円、臨時財政対策債が30・2パーセント増の1億6920万円を見込んでいる。

■なお、基金会計からの繰入額は5億6198万円を計上し、そのうち財政調整基金からは3億円、また庁舎等増改築基金からは2億3300万円を繰り入れ、本庁舎耐震改修等に充てている。

■歳出は、義務的経費が前年度に比べ4パーセントの増の18億4061万円となっている。

■平成25年度の職員数は、行政職89名、現業職17名の合わせて前年度から1名減の106名体制となる。なお、新規採用職員は保育士2名を含め7名で、新年度から2年間、滞納整理機構と徳島県後期高齢者医療広域連合へ、それぞれ1名ずつ職員を派遣することとしている。

■平成24年分のふるさと納税は、31名の方から247万4千円のご寄附をいただいた。本年度は、消防備品、小学校の修学旅行補助金、神山中学校体育館の椅子購入、観光案内板の設置、乳児検診、町マラソン大会、宮古市交流支援事業に使わせていただくことにしている。

■歳出の主な事業等は、友好提携を結んでおります宮古市へ本町の阿波踊りの桜花連が被災された皆様方に、少しでも喜んでいただけたらという目的で、訪問の計画をしている。

■地域おこし協力隊は、新年度新たに3名の隊員を募集しました。その結果全国から14名の応募があり、2人を選び、現在受け入れの準備を進めている。

■防災行政無線は、現在更新の準備を進めており、平成24年度に実施設計を済ませ平成25年度、平成26年度の2力年で防災無線の全設備をデジタル化し、安心安全な町づくりを目指して

いる。

■公共施設の耐震改修は、防災活動対策の拠点となる役場本庁舎について、平成24年度に実施設計を済ませ本年度耐震補強工事とともに、老朽化に伴う改修工事も併せて行う。

■上分公民館は旧公民館の解体が完了したので、擁壁改修工事を行い敷地を整備し本年度建設する。新しい公民館は鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積464・25平米で3人乗り



神山の説明を受ける地域おこし協力隊員

用エレベーターを設置する予定である。

■また広野公民館も、本年度に東側の2階、3階の張り出し部分の撤去等の耐震改修を実施する。

■中央簡易水道施設の改修は、本年度の早い時期に実施設計を行い、2年間を掛け水源施設、中央配水池、上角配水池、滅菌施設等施設の大規模改修を実施する。

■残土処理場は、5年前から満杯になっているが適地が見つかったので購入予算を計上している。場所は神領字西青井夫で、面積は約1万平米、容量は5万立米の見込みである。

■地域主権改革一括法に基づく条例の制定は、本町の地域特性等に考慮し、神山町営住宅等整備基準を定める条例ほか7条例を制定する等々の表明があった。

## 諸報告

○平成24年12月、平成25年1、2月分の例月出納検査報告

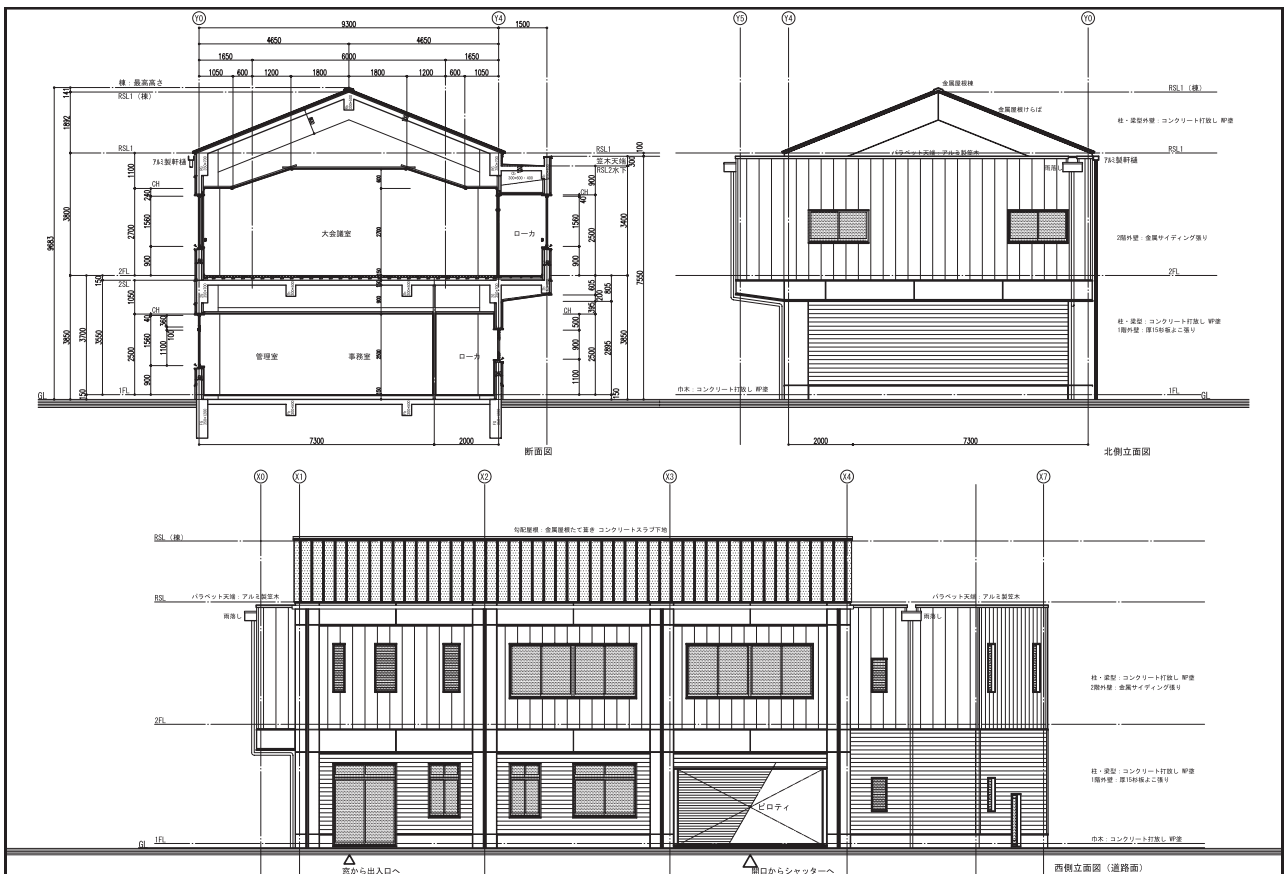
監査委員から一般会計及び特別会計に属する出納状況を出納機関の諸帳簿、指定金融機関提出の収支日計表、証憑書類と照合した結果、過誤のないことを確認したことの報告があった。

○教育委員会の権限に属する事務及びその他教育長の権限に属する事務の管理及び執行状況等の点検、評価及びその結果報告

教育委員の就任状況、教育委員会での会議の開催状況、学校施設の状況、児童生徒数、教職員数、学力調査の結果、教育委員会主催及び共催の各種事業等について報告があった。

○議員派遣報告  
平成25年度神山町消防出初式など7件について報告があった。

上分公民館 完成立面図



## 条例制定・改廃等

○**神山町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定**

新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、緊急事態宣言が発令されたときは、市町村長が市町村行動計画で定めるところにより、ただちに市町村対策本部を設置しなければならぬこととされており、対策本部に關し必要な事項を条例で定めるものである。

(賛成多数可決)

○**町長等の給与の特例に關する条例の一部改正**

平成24年度と同様に町長は20パーセント、副町長は10パーセント、教育長は5パーセント基礎額に乗じて得た額を減じて得た額を給料月額と定めるものである。

(賛成多数可決)

○**神山町個人情報保護条例の一部改正**

国有林野の管理経営に關する法律等の一部を改正する等の法

律が公布され、国有林野事業が国営事業でなくなり、国が経営する企業が存在しないこととなるために、それに伴う語句の整理を行うものである。

(賛成多数可決)

○**神山町印鑑条例の一部改正**

平成24年度に住基情報システムの導入に伴い印鑑登録管理システム機能が追加されており、印鑑の登録事務から証明書発行、印鑑登録原票の管理などを住基情報システムを用いて行うこととして、変更の改正を行うものである。

(賛成多数可決)

○**神山町営住宅等の整備基準を定める条例制定**

公営住宅法が一部改正されたことにより、これまで国が法令で定めていた町営住宅整備基準について、国が定める基準を参酌して地方公共団体が地域の実情に応じて条例で定めることとなったため、今回条例の施行に關し必要な事項を定めるものである。

(賛成多数可決)

○**神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に關する基準を定める条例の制定**

○**神山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に關する基準を定める条例の制定**

以上2件は、介護保険法が一部改正されることになり、市町村が厚生労働省令の基準を踏まえ、条例で定めることとなったためである。

(賛成多数可決)

○**神山町指定地域密着型サービス事業者等の指定に關する基準を定める条例の制定**

介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い、申請者の法人格の有無に關する基準が市町村の条例に委任されることとなり、新たに条例を制定するものである。

(賛成多数可決)

○**神山町子どもはぐくみ医療費の助成に關する条例の一部改正**

地域における共生社会の実現に向けて、新たな障害保健福祉施策を講ずるため障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に改称され、本条例の小児特定疾患医療給付の根拠法律名を改正するものである。

(賛成多数可決)

○**神山町水道法施行条例の制定**

水道法第12条及び第19条が一部改正されたことにより、従来は法令で規定されていた技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道布設工事の範囲並びに当該監督業務を行う者及び技術者に必要な資格を条例で定めるものである。

(賛成多数可決)

○**神山町道道の構造の技術的基準を定める条例制定**

道路法の改正があり、これまで国が法律で定めていた町道の



東分交差点 (鬼籠野)

構造の技術的基準は、政令で定める基準を参酌して、当該道路の道路管理者である地方公共団体の条例で定めることとなったので、この条例を定めるものである。(賛成多数可決)

○神山町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定  
これまで国が法律で定めていた町道の道路標識の寸法を、政令で定める基準を参酌して、当該道路の道路管理者である地方公共団体の条例で定めるものである。(賛成多数可決)

○神山町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定  
従来は河川法において読み替えて準用すると政令で定めるとされていた河川管理上必要とされる技術的基準を、今後は政令で定める基準を参酌して、地方公共団体の条例で定めるものである。

### 議員発議案

○核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書  
これまで国連に提出された日本政府の決議案は、「核兵器国にあらゆる型式の核兵器を削除し、かつ究極的に廃棄することを要求する」内容となっているが、目標を「削減」、「究極的」でなく、2020年までの核兵器絶滅を、目標にした取組とするよう、強く要請をするものである。(賛成多数可決)

○オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書  
この意見書は、徳島県民を含むすべての人々の安全のために、オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練が行われないよう、強く要請するものである。(賛成多数可決)

○議員派遣  
第22回徳島県町村議会議員研修会ほか2件について決定した。

○委員会の閉会中の継続調査  
各常任委員会、特別委員会における案件について、閉会中も引き続き調査を行うと決定した。

### 請願・陳情等

○陳情書

・違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書  
提出者 兵庫県伊丹市北伊丹1

丁目乃

井田 敏美

○要望書

・監査機能の強化に関する要望  
提出者 徳島県市町村監査委員協議会  
会長 柘田 正憲

以上の2件については、資料配付とした。

○陳情書

・米軍機・オスプレイの低空飛行訓練中止を求める意見書の提出に関する陳情書  
提出者 徳島市佐古7番町8-13  
徳島平和委員会  
代表理事 神野 美昭

・核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書提出について陳情書  
提出者 板野郡松茂町長岸120  
非核の政府を求める徳島の会  
代表世話人 中村 勸善

以上2件については、採択した。

## その他

○平成24年度施行24年災第1号  
道路災害復旧工事変更請負契  
約の締結

工期を平成25年3月31日まで  
に改めるものである。

(賛成多数可決)

○石井町神山町障害者程度区分  
認定審査会共同設置規約の変更  
現行の障害者自立支援法が、  
障害者の日常生活及び社会生活  
を総合的に支援するための法律  
に改称され、また、障害程度区  
分が、障害支援区分に改正され  
ることから、規約を変更するも  
のである。(賛成多数可決)

○五島準介議員に対する懲罰特  
別委員会の設置に関する動議  
(異議なし決定)

○五島準介議員に対する懲罰特  
別委員会の審査報告

委員長より審査報告があり、  
採決の結果、戒告処分となっ  
た。

## 平成25年

### 名西消防組合議会

#### 第1回 定例会

第1回定例組合議会は、平  
成25年3月5日に神山町役場  
議場で開催された。

本定例会では、名西消防組  
合職員職定数条例の一部改  
正、平成25年度名西消防組合  
一般会計予算の2件を審議し  
原案どおり可決した。

○名西消防組合定数条例の一  
部改正  
51人から52人体制に改める  
ものである。

○平成25年度名西消防組合一  
般会計予算  
6億2573万円

内訳

神山町負担金

1億9814万円

石井町負担金

3億6440万円

その他

6319万円

## 一般質問



西崎 哲夫 議員

### 問

1 過疎や高齢化に伴い、適  
目立ちはじめた。今後3年5年  
の経年に従い急増する危惧があ  
る。神山町移住交流センターの  
移住者斡旋についても、建築経  
年によって対応可能な空屋は限  
られている。

牟岐町が今春、空屋対策条例  
制定を目指している報がある。  
神山町でも検討の必要があるの  
ではないか。

### 答

町長

平成19年度町の調査で  
は、171戸の空屋があり、神  
山町移住交流センターの活動に  
より一定の成果を上げていると

思っている。全国で条例制定の  
自治体が73あり、行政指導等々  
行政代執行等の項目があるのは  
17の自治体である。対象が個人  
財産でもあり、税制上の問題等  
があり、実効性では困難を極め  
ている現状である。県も老朽化  
家屋等々を対象とした、助成措  
置を講ずるといふ制度もあるよ  
うなので、町も県の制度に沿っ  
た要綱で対応したい。

### 問

2 野良猫に避妊、去勢手術  
をした上で、地域住民が  
責任を持って飼育する「地域猫  
活動」を本町でも推進してはど  
うか。強い繁殖力で増えた野良



中山間地域「東稲原集落（下分）」

猫が、周辺地域環境悪化の一因となつている現状を考へて、現実の殺処分と併せて推進してはどうか。神山には部落単位の強い連携が今もある。推進可能な要素が備わっている部分があると考へられるがどうか。本町ではまだ取組み例がないのとこのことであるが。

**答**

町長

犬や猫、又様々な動物については、人各々に好きな人そうでない人の差が大きいので地域猫活動について、地域の方々がどこまで理解してもらつて、この活動を推進するにつき高まりを得られるかという課題がある。行政としては飼い主の適正飼育の啓発、マナーの向上等のチラシ等を配布していかざるを得ないと思つている。

**再問**

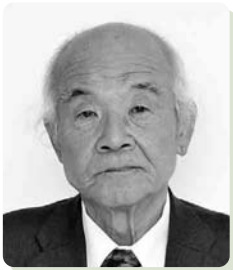
動物が好き嫌いとかの課題ではない。猫は非常に繁殖力が強いので、野良猫化し

た猫が地域環境を害している現状がある。去勢や避妊手術により、殺処分等と併せて、野良猫を増やさない手法として、地域猫活動制度の理解を啓発出来なにかという質問の主旨である。

**答**

町長

猫の適正管理、繁殖抑制は野良猫の地域環境阻害を考へると大切だと考へる。適正な数値を考へし繁殖力を抑制していく事について、町民の方々の協力と理解が必要と考へるので、地域猫制度や補助制度があることを町民への周知に努めたい。こつした中から、猫の適正数の管理等にも進んでいくのではなにかと考へる。



坂口 一之 議員

**問**

1 東北地震から2年。本格的に復旧復興が進むなか被災市町村では全国各地の自治体から応援職員が多く派遣されているが、広範囲の職種で職員が不足しているとのこと。町職員の応援派遣について町長の考へはどうか。

**答**

町長

被災直後に職員を10日間の短期間8人を延80日派遣したが、6ヶ月以上の長期派遣は職員をピーク時の181人から現在106人と削減しており現状では派遣は難しいと考へている。

**問**

2 道の駅や交通量の多い東部地区で農産物直売所の充実を検討し六次産業化を目指しと実施計画に書かれているが、具体的にどう考へているか。

**答**

産業建設課長  
町とJA県の支援セン

ターと連携し町の特産物（すだち・梅・フキ等）の消費拡大や加工品開発を支援するため苗木導入への補助24年度はフキのあわ春香の苗を町とJAが補助また加工流通協議会を中心に加工品完成に至つてないが加工品開発研修研究に下分加工所等を取り組んでいる。東部地区での農産物直売所については徳島市を中心に近隣11市町村で連携し各市町村の特産物の販売促進を目指し努力している。その中でアミコビル地下にアンテナショップを出店し本町からもすだち梅等を販売している。



すだちの花



### 問

3 緑のふるさと隊、田舎での助成の内容はどのようなか。また町内への移住者の農地確保を可能にする農地法の特例を認めてもらう特区申請をするを実施計画で書かれているが、具体的にはどう考えているか。

### 答

町長 助成制度の地域おこし協力隊は総務省の事業であり、400万円まで特別交付税措置される。緑のふるさと協力隊は農水省外郭団体のふるさと活性化協議会の事業であるが町に有利な総務省の事業を取り入れている。

### 産業建設課長

農地法では農地の自己所有地と購入する農地を足して30アール以上にならないと購入できないとなっているが、農環境保全等のためにも移住者の農地確保を可能にする特区について研究

努力する。

### 問

4 道の駅の機能向上のための施設の改修拡張についてどう考えているか。また観光協会の活動強化にむけて運営補助と組織強化についてどう考えているのか。

### 答

町長 現在の駐車場は土日祝祭日、桜の季節は大変混雑しているので隣地所有者の協力が得られるのであれば駐車場の拡張を図りたい。また販売スペースも狭く混雑している出展者も限られているので多くの生産者が利用できるような、お客さんに気持ちよく利用していただけるよう、利用されていない空間のリフォーム等により有効活用できるように考えたい。観光協会の運営補助と組織強化については、協会も少ない予算の中で様々な事業に取り組んでいただいているが運営補助については今後と

も推進していく。組織強化については協会に加盟している会員だけでなく各地域で活動している団体やNPO法人サテライトオフィスの誘致でこられている県外企業とも連携強化を図り今の入り込み客が増大するように組織強化を図っていく。

### 問

5 商工会の活動支援のため町内消費を活性化するためプレミアム商品券の発行についてどう考えているか。

### 答

町長 商工会に対しては当初予算で300万円補助金を計上している。プレミアム商品券については今後の町内消費の活性化のため有効と想定されるならば発行を視野に入れて考える。

### 問

6 24年11月県議会で南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例が制定されたが、その条例はどのような内容か。

### 答

町長 本条例は南海トラフを震源とする巨大地震中央構造線活断層帯を震源とする直下型地震等の震災から住民（県民）の生命、身体及び財産を保護するための基本理念を定め震災に強い社会づくりを目的とした条例である。震災に対する予防対策・応急対策・復旧及び復興対策が定められている。



観光客で賑う道の駅

### 質問者まとめ

県条例では住民と直接向きあう市町村と連携が謳われているが町として危機管理体制等の充実強化に今以上に取り組む必要があると思います。



木元 史幸 議員

**問** ① いじめ、体罰、不登校が、この5年間に報告されたのか。

**答**

教育長

いじめは小学校で1件、中学校で1件、体罰についての報告はない。

不登校については、平成20年に中学校で1名、21年は、小学校で2名、中学校で4名、22年は小学校で2名、中学校で4名、23年は小学校で2名、中学

校で7名、24年は小学校で1名、中学校で3名。

**問**

② いじめ、体罰、不登校等について委員会、又学校側、保護者間での話し合いはされたのか。

**答**

教育長

委員会での報告はしたが、議論はしていない。

校長会においては個別面談の機会を作ったり、生活状況を把握するよう指導をしている。

**問**

③ スクールカウンセラーの体制は。

**答**

教育長

一校につき2週間に一回学校訪問をしている。



## 行政視察など報告

### 佐那河内村議会と

### 合同研修会

2月13日、佐那河内村議会と合同研修会を終えた。

テーマは「議会の調査機能」についてであった。

要旨は、委員会、本会議に参考人として住民への招集が可能である。例えば、移住交流、サテライトオフィス事業が進行中である。それに関わる人達の声を直接聞き、事業の継続か、拡大か、縮小かの評価判断の基準とすることが可能である。

「議会って何しよるんで!!」とストリートに、しかも痛烈な声を住民から問われる。

人口減少、健全な財政運営の方策として、議員定数・報酬の削減が実施されている。情報の開示はもちろん、住民と協働の時代である。

議会の存在が問われ、能力と改革が求められている。

理事者側の追認機関とならぬよう、監視機能の強化のため議会全体の努力が必要である。

6000人の12人  
報酬「税金」をいただいている。  
(木元史幸)



合同研修会

## 勝名地区町村議会議員

### 研修会

平成25年2月26日、徳島市「ホテル千秋閣」で佐那河内村12名、神山町12名、上勝町8名、石井町11名、勝浦町10名の議員、議会事務局が参加し議員研修会が開催されました。講師として、徳島県国民健康保険団体連合会、課長補佐、宮本道代氏による「県、町村の実態からみえる今後の取組みについて」と題して講演があり、我が国の社会保障給付費の推移は、昭和45年で3兆5千億円が平成24年（予算ベース）では109兆5千億円、で国民一人当りの社会保障給付費（年金・医療・福祉その他）では81万円となっている。

特定健診・医療・介護における町村ごとの実態で平成22年一人当たりの神山町の医療費は一般（0～74歳）で423千円・退職医療費456千円・前期高齢者（65歳～74歳）495千円・

後期高齢者医療費832千円となっている。

特定健診受診率（平成23年）

神山町41%で、その結果の状況は受診者の中の有所見者割合は、高血圧47・7%・脂質異常（LDL）49・3%・高血糖62・6%・メタボリック17%となっていて、特定健診受診率のアップをはかり発症予防を願いたい。（相原 浩志）



議員研修会

## 徳島県町村監査委員

### 協議会に参加して

第11回定期総会が平成25年2月15日、ホテル千秋閣で開催され、議会選出の木元監査員と参加した。

今回の総会では会計報告、歳入歳出決算の認定、平成25年度会務運営方針並びに事業計画・予算案の審議の他、徳島県町村監査協議会監査基準準則（案）が示された。

これを受け本町では国、県に準ずることになる。

最後に監査機能の充実と監査体制の強化等について決議採択し国県等関係方面に陳情することとなった。

総会に引き続き、岐阜県監査委員事務局、監査第二課公認監査人丸山恭司先生より「監査委員監査の効率性と実効性の向上」について講演があった。  
・民間内部監査手法を活用した効率性の向上

・補助金等監査事例等の紹介  
・5Sから見た実効性ある監査  
以上の様な内容で特に5Sと

は『トヨタの片づけ』中経出版からの整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5項目で

・整理・片づけは判断基準が必ず要

―お客様を最優先に考える。  
―監査にとつての顧客とは、  
時間を判断基準にする

①今使う、②いつか使う、  
③いつまでも使わないを明確に

―いつかになるべく近い将来  
―自治体にとって、今後は資産の適正規模化が重要な時代に！

監査にも通じ、また、あらゆる事にも通じる事例が具体的に紹介された。

全体として今後の監査に役立つ有意義な内容の研修であった。

（代表監査委員 橋本 稔）

Q

## 常任委員会・特別委員会とは

A

### 常任委員会とは

委員会のうち、常設のものをいいます。神山町議会では「総務常任委員会」「産業建設常任委員会」「厚生文教常任委員会」があり、それぞれ4人で構成されており、議員は必ずどこかの委員会に属しています。常任委員の任期は2年となっています。

### 特別委員会とは

委員会のうち、必要のある場合や特定のことを審議するために設置される委員会のことをいいます。



## 議会の動き

4月

12日 神山町議会全員協議会

19日 勝名地区町村監査委員連絡協議会定期総会

23日 勝名地区町村議会議長会臨時総会

5月

10日 第22回徳島県町村議会議員研修会

22日～24日 勝名地区監査委員連絡協議会視察研修

28日～29日 第38回全国議長・副議長大会

6月

下旬 6月定例会



桜咲く神山東中学校



議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越しください。

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。

日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局  
TEL

676-11511

「1P2002」

次の定例会は

**6月下旬です。**

## 編集後記

今年の桜の開花は余りに早く、本来の春の情緒に浸ることが出来なかったと感じたのは私だけだったのだろうか。

さて新年度の予算審議も終わり新たな年度の始まりである。ところで4月に地元である広

野小学校、神山東中学校の入学式に参列をした。広野小学校は新入生が5名で全校児童は44名。1、2年生の複式学級となる。隣の徳島市入田小学校も全校生徒は44名と同数である。

神山東中学校は14名の入学生で全校生徒34名とのことであり将来の学校存続を危惧したところであり、若者定住住宅などの少子化対策を早急に進めるべきではないかと痛感した。

（森本吉治）